

<事業名> かなべ de ラバートレッキング!

団体名	y. a. r. d. (やーど)
所在地	兵庫県豊岡市出石町
代表者名	小松 大輝

事業内容	<p>豊岡市在住の若者で構成された y. a. r. d. (やーど) は、令和3年3月13日に日高町神鍋地域で「かなべ de ラバートレッキング」の代替イベントである「ツリーイング」を行った。当日は天候による心配もあったが、晴れ間も見ることができ、10人の参加者とともに満足度の高いイベントができたと考えている。</p> <p>「NPO 法人かなべ自然学校」様のご協力により、但馬の大自然を堪能しながら参加者同士の積極的な交流を行い、多くの参加者からは「もう一度遊びにきたい」という満足感のある声も聞くことができた。また当日は焚火をしながら参加者同士の触れ合いの時間を設け、今後の但馬の将来像や但馬内外の状況を共有することができた。ツリーイング終了後に神鍋周辺の自然スポットのミニツアーを行い、但馬の自然を再発見できたと感じている。</p> <p>※ツリーイングとは…大木にロープをかけ、足の力のみで上り下りを行う体験プログラム。10m以上のある高さから神鍋の自然を一望することができ、神鍋地域の自然を感じることができる。</p>
地域	兵庫県豊岡市神鍋地域
事業の効果	<p>1 団体（組織）内の効果</p> <p>新型コロナウイルスの影響からイベントの実施が延期されるなど、チーム内での士気が下がりがつあった。しかし、月に1回の定例打合せをするなど事業実施について意欲的な気持ちになるようにチーム全体で心がけた。</p> <p>事業実施の3ヶ月前からは、事業者様との打ち合わせも増え、各メンバーに役割分担をすることで、チーム全体でのやる気も高まり当日を迎えることができた。</p> <p>2 地域への効果</p> <p>豊岡市内で活動している任意団体も積極的に集客に協力していただき、イベントを通して但馬を盛り上げようという気持ちを共有することができたのではないかと考えている。また但馬在住の参加者が中心であったが、ツリーイングを通して但馬地域の自然の雄大さを再認識することができ、さらに SNS で宣伝することで但馬外にも PR することができた。</p>

事業経過	2年6月上旬	事業者様 代表打ち合わせ
	2年6月中旬	事業実施についての検討・打ち合わせ (新型コロナウイルスの影響で延期決定)
	2年10月上旬	事業実施についての検討・打ち合わせ (新型コロナウイルスの影響で延長決定)
	3年1月下旬	事業実施についての検討・打ち合わせ
	3年2月中旬	事業者様 代表打ち合わせ
	3年3月初旬	参加者募集実施 (3月11日まで)
	3年3月中旬	事業実施
	3年3月中旬	振り返りと今後の活動状況の確認 (3月14日実施)
協働の相手方	NPO 法人かなべ自然学校 様	
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体（組織）の課題</p> <p>私たち y. a. r. d. の課題として大きく分けて2つの課題があると考えている。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの影響でイベントをしたくても実施できないという状況が続き、チーム内のモチベーションが下がってしまったこと。月に1度は打合せするなど、積極的なコミュニケーションを続ける必要があった。</p> <p>(2) イベント実施決定後から、募集時期・募集方法などが世の中の状況を考慮する必要があった。もっと前段階から計画をして事業実施に進むことができれば、スムーズに募集案内ができたのではないかと考えている。</p> <p>2 地域の課題</p> <p>但馬には自然を堪能することができる魅力スポットが溢れていると考えている。若者を切り取っても、但馬で外あそびをしている人は少数であり、もっと魅力発信をする必要があると考えた。若者自身が但馬の外あそびを紹介することによって、但馬外にもPRされ、遊びで訪れる若者の交流人口も増えるのではないだろうか。</p> <p>〈令和3年度以降の事業計画〉</p> <p>新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、外あそびを積極的に推し進めていきたいと考えている。少人数かつ安全に実施できる登山やラバートレッキングなど但馬ならではの自然を体験できるアクティビティ体験や活動を実施したい。</p>	



R3年3月13日 体験前説明



R3年3月13日 ツリーイング実施風景



R3年3月13日 ツリーイング実施風景



R3年3月13日 焚火を囲んで意見交換